

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2024年

3月

223号

春の訪れ



◇ 透明人間にはなれない
◇ 孤独にならない生き方

宗教法人 真生会

<http://www.shinseikai-world.or.jp>

令和六年信仰目標

利他行を実践しよう!!

『幸せへの近道、一日一つ人のため!』

真生会の教えとは!

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

開祖さま十七回忌笑顔



二月二十五日（日）開祖さま十七回忌笑顔忌法要・偈ぶ会が、開祖さまと深いご縁のご来賓をお迎えし、親族親戚と会員代表の役員信徒が集い、真生寺での報恩供養に続き、会場を移し偈ぶ会が和やかに行われました。



立正佼成会、小谷田昌亮様（右）
秀島康郎様（福岡教会長、左）



会長先生お焼香



谷口祐晟参与のご挨拶



田中佑季子会長夫人（左）
谷口祐子参与夫人（右）

おしゃれで
ダンディーな開祖さま



開祖さまを偲ぶ会



来賓ご挨拶、秀島康郎先生



会長先生ご挨拶



献杯、小谷田昌亮先生



閉会のご挨拶、土川順寛参与



会長先生ご夫妻とご来賓、先生方



会長先生ご兄弟



開祖さまのみ教え

開祖 たなか 田中 ひで 偉仁 ひと

開祖さまの祥月ご命日「笑顔忌」しょうがんきは、多くの人が開祖さまの笑顔によって救われたことに由来してありますが、その満面の笑顔は表面的な笑顔ではなく、青年期の生死をさ迷われた大病、倒産による貧乏のどん底、寝食を惜しまぬ布教生活の生涯に基づいた「忍」があるのです。その忍は我慢ではありません。「不自惜身命。命がけになれば、なんとかなる。きつとよくなる。相手を尊ぶ、人を悪く見ない。それが法華経の教えです（開祖さまのお言葉）」

命がけになって「我」を捨てる。どんな苦難に直面しても必ずよくなると前向きに考え、すべての人の仏性を信じ、相手を尊び人を悪く見ない常不輕じょうふきやう菩薩ぼさつの實踐に裏付けられた笑顔なのです。



【開祖さま紋付羽織の裏地に書かれた文字】

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなか つねひと



◇透明人間にはなれない

一月二十五日「自分は桐島聡だ」と名乗り出た男（七十歳）が四日後に末期がんで死亡したニュースに日本中が驚きました。

昭和五十年頃、多くの死傷者を出した極左グループによる連続企業爆破事件の指名手配犯人だったのです。約五十年にわたり偽名を使い家族や友人とのつながりを断ち、偽りの人間関係の中で捕まることに怯えながら素性を隠し、社会との関係を極力避けて透明人間として生きて来たが、悔悟の念か、人間関係を持たない寂しさか、このまま死んだら「自分という存在」七十年間生きて来た証が消滅する空しさからだったのでしょうか、最後に本名を明かして亡くなって行ったのです。

お釈迦さまは仏教の根本理念である三法印さんぼういんの一つに「諸法無我しよほうむが」人間は他の人とのつながりの中で生きていると教えられました。

近年の異常気象や自然災害は、人間は繋がつなり合いの社会であり、互いの支え合いの中でのしか生きられないことを神仏が教えているのではないのでしょうか。

しかし、昨今は「墓じまい」と称して自分と家族の命のルーツである先祖との縁を切る傾向が流行していますが、先祖という根を切ってしまうとどうして枝葉である子孫の栄える例ためしがありますでしょうか。

また、小さなお葬式はやという名のもとで「家族だけのお葬式」が流行り、故人の生きた証あかしである友人や知人との人間関係を見捨てる、最後のお別れもできず、あなたも透明人間のような最後は寂しいものです。

また家族関係も核家族化が進み、年老いた親と子供



家族の関係が薄情になり透明化しています。

若者世代も例外ではありません。子供を育てる自覚や覚悟のない若い親の身勝手な都合で子供を虐待死させたり育児放棄をする悲惨なニュースが毎日のように報道され心が痛みます。

子供は親の言った通りではなく、やった通りに育つのです。共働きで疲れて帰り家事に追われる母親や帰宅後はスマホやゲームに没頭する父親から、十分な愛情や手間暇が掛けてもらえず、手本とするべき親の後ろ姿が見えない家庭が多いのではないのでしょうか。

そうした家庭環境で育つために正しく子供に愛情が掛けられず、相談する親、尊敬できる親もなく、若い親自身が孤立し孤独なのではないのでしょうか。

◇孤独にならない生き方

人間は透明人間や孤独では生きられません。

では、孤独にならないには、どうしたら良いのでしょうか。

簡単です。仏教では相手に良き思いを与える「利他行^{りたぎょう}」であると教えています。平素から人の喜ぶこと、人の役に立つことを行っていれば、必ず人が近づいて

来て孤独にはなりません。

そして、利他行の第一は「布施」です。施しの強い人は人気があり人が集まってきました。

反対に「沈香も焚かず、屁もひらず」お香を焚いて芳香を放つでもなく、臭い屁を放つて悪臭も立てない、可もなく不可もない人のことを言う譬えですが、迷惑もかけないが良いこともしないという人生は、先細りの孤独な寂しい人生になります。

施しは損のように思えますが、「出せば、入る」のが世の中の真理であり、施しこそが人生を豊かにします。施しには財施、身施、法施がありますが、特に法施（教えを伝えること。教えに導くこと）は財施や身施の百倍・千倍・百万億倍の想像を超える功德が頂けると經典に明言されています。

「お導きこそ幸せの王道」なのです。何故か！教え



は人の人生を生まれ変わらせ幸せにするからです。

そして、財はなくても施せる「無財の七施」という施し方があります。

①眼施げんせ・・・相手を思いやる優しい眼差まなざしで人に接する。

②和顔施わげんせ・・・にこやかな顔、和やかな笑顔で人に接する。

③言辞施ごんじせ・・・あいさつや感謝の言葉で相手を喜ばせる。

④身施しんせ・・・人のために動き、善い事を積極的に行う。

⑤心施しんせ・・・人のために心をくばる。慈悲の心、思いやりの心で寄り添う。

⑥床座施しょうざせ・・・電車や会場でお年寄りや身体が不自由な方に席を譲る。

⑦房舎施ぼうじやせ・・・風雨をしのぐために軒下を提供する。雨の時に相手に傘を差しか

ける思いやりの行為。

要するに「して欲しいという求める生き方」から、「与える生き方」に大転換することです。つまり、インプットからアウトプットに切り替えるのです。

信仰の仕方も教えを学ぶインプットの「声聞しやうもん」から、聞いた教えを伝えるアウトプットの「布教者ふきやうしや」になることです。これを「菩薩ぼさつ」というのです。

利他行の第二は「掃除そうじ」です。お寺の修行の第一歩は掃除であり、心身の健

康を保つ仏道修行の基本です。

掃除は脳と体を使うので認知症防止にも最高です。家の中をいつもきれいに掃除し、整理整頓をしていれば体の美容健康にもなるし、子供の脳の成長にも適しているということです。きれいな家や部屋には人が集まりますが、散らかった部屋やゴミ屋敷には人は近づいてきません。

そして、部屋の乱れは心の乱れ、立派な子供は育ちません。反対に掃除や片付けの整った家に育った子供は、心がきれいで素直な落ち着いた子供が育つのです。次に「愚痴や不足や文句の多い」クレーマーにならないことです。



いつもプラス思考で明るい話をし、人を誉める素直な人になる。すぐ怒らず、温厚な人になるよう心掛ければ孤独にはなりません。



日めくり解説②

20

やらねども
やり返さな
それが仏の教え
やらねたら
やり返す
それが凡夫



釈迦族は宗主国であるコーサラ国の
ヴィドゥーダバ王が少年期に受けた屈辱じよくに対する怨みによって滅ぼされまし
た。お釈迦さまは王の思いを留とどまらせ
ようと三度行く手にお座りになりまし
たが、王の復讐心は収まらず釈迦族は
滅びました。

しかし、王一族と兵隊たちは七日後、
河原で戦勝の宴うたげを楽しんだ夜半、暴風
雨による洪水と落雷により押し流され
焼き尽され滅んだのです。

怨みは怨みによって止とどまらず、恩(慈
愛)のみこれを止めることが出来るの
です。いま世界は、憎悪の戦争が多発
しています。「責むるより許せよ人の
過ちを己が身にも罪やあるなん」

21



「無理」だと

投げ出したら

お終まで

ここまですと

思ったたら

そこまです



発明王エジソンは「私は失敗したことがない。ただ、一万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」と語っています。何度も何度も失敗を繰り返しながら、決してあきらめずに挑戦し続け、ついにはたくさんの発明を世に出しました。

「結果は後からついて来る」のです。自分にやって来る問題は、身の丈よりもちよつと高い壁であり、超えられない壁ではありません。「自分には無理だ」思い、挑戦を辞めれば事は終わりです。どんなことも、ここまです諦めたらそこまでの失敗に終わるので。どんな難問題も諦めなかつたら失敗ではありません。(引首印は不退転)

今月の運勢（4月）

（2024年4月4日～5月4日）

一 白水星

無から有を生み出す草創期の苦勞に直面し、絶大なエネルギーが必要となり予測しがたい苦難が伴うが、乗り越えれば苦勞が喜びとなる。急ぎ過ぎるとつまづく。目上の助言を仰いで進めば安心。

二 黒土星

発展上昇の時。もはや誰も邪魔する者はいない。頂上を目指して前進すれば、願い事は大いに通るが経験豊かな人物との出会いが必要。人脈と行動範囲を大いに広げると良い。

三 碧木星

衆目が注視する八方塞

がりの時だが、中心に位置しているので力は充実し、全体がよく見える。大きな動きは避けて力を蓄え、周囲の状況を把握し計画を見直し好機に備えよう。

四 緑木星

蓄積の時だが多くを望まないこと。小さな願いは叶う。目指す所は正しいが、やや力不足であり、時期尚早のため準備不足の難がある。時間をかけて前進すれば目的は達成できるので焦らないこと。

五 黄土星

収穫の時だが八分目の収穫に満足すること。楽しい出会いも増える

が、一言の言葉足らずが相手の心を腐らせないように注意すること。相手を包み込む優しさがあれば大丈夫。

六 白金星

変化切り替えの時である。出処進退を決断するには、あつさり背を向けて退くか、思いとどまるべきか熟慮が必要。時の流れと周囲の状況をよく見極めることが大切。

七 赤金星

制度や風習、今日までの在り方を大きく変革させる時です。時代遅れの事や内容が実態に合わないことは一新させても本筋は変えては

ならない。改革の成否は自らに人徳が備わっていることが条件。

八 白土星

目の前に剣難が立ちふさがっているが、純粹な心で無心になって求めれば天は応えてくれる。わからないことは自ら進んで誠心誠意たずね、努力すれば願事は通る。

九 紫火星

今まで見えなかったものが太陽の輝きでようやくはつきりと見え多くの人が集まって来る。太陽の明察と大地の従順さをもって我が道を進めば、上位者の引き立てで出世する。

しあわせ眼鏡

誰にでも使命がある。
使命に生きる人の人生は、美しく力強い。
自分の為だけに生きる人の人生は、薄っぺらで空しい。
あなたの使命は何ですか？

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします